

事務事業評価シート

(H.30)No.	1492	(H.29)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	エシカル消費に関する消費者教育推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
市民部	市民相談室	中川 紀代美	

会計区分	事業コード	024601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	地方消費者行政強化事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 地域振興費	エシカル消費に関する消費者教育推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造
	施策	2	循環型社会
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市の自然豊かな生活環境や愛着のある地域性を子から孫そして次の世代へと、いつまでも繋いでいくために、エシカル消費の意味を知ってもらいます。
事業内容
国の地方消費者行政強化事業交付金 出前講座(食品ロスを考える料理教室)の開催 「エシカル消費って なあに」(仮称)講演会の開催 市等の行事での啓発活動 コミュニティFM放送での普及啓発放送 意識調査の実施、分析 他

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
主な事業の実績・計画		市民ができるところからエシカル消費行動を起こすことができるように、まずは、エシカル消費の認知度を高めるための啓発をすることを目的とします。 出前講座(食品ロスを考える料理教室)の開催 「エシカル消費って なあに」(仮称)講演会の開催 市等の行事での啓発活動 コミュニティFM放送での普及啓発放送 意識調査の実施、分析 他	市民ができるところからエシカル消費行動を起こすことができるように、まずは、エシカル消費の認知度を高めるための啓発をすることを目的とします。	市民ができるところからエシカル消費行動を起こすことができるように、まずは、エシカル消費の認知度を高めるための啓発をすることを目的とします。	

	H.29年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費				3,874千円	3,874千円	3,874千円	
内訳(千円)				1,937	1,937	1,937	
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	1,937	1,937	1,937	0
人工数				0.20人	0.20人	0.20人	
職員				0.97人	0.97人	0.97人	
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	0千円	0千円	3,226千円	3,226千円	3,226千円	0千円
①+②総事業費	0千円	0千円	0千円	7,100千円	7,100千円	7,100千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
名張市では、市民とともに「未来につなぐ自立と協働」を目指しています。日本や世界はもちろん、名張市の自然豊かな生活環境や愛着のある地域性を子から孫そして次の世代へと、いつまでも繋いでいくために、エシカル消費の意味を知ってもらいます。市民ができるところからエシカル消費行動を起こすことができるように、まずは、エシカル消費の認知度を高めるための啓発をすることを目的とします。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
---	------------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
エシカル消費はいろんな方面から啓発することができます。今年度は食品ロスに関連した事業を、翌年度はゴミゼロに関連した内容を、翌々年度はフェアトレードに関する啓発を考えています。

6. 事務事業の取組に関する市の計画